

2024年 4月 26日（金）
13:00 - 15:00
Zoom meeting

研究分担者報告

- 第6回 瓜生原班（厚生労働科学研究費）会議 -

齋藤 裕、島田 光生

徳島大学 消化器・移植外科

研究分担内容・日程

目的	そのために必要なこと	具体的研究方法	担当	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度
①地域の啓発に必要な資源の明確化	A 各都道府県における啓発に関わる資源と活動実績を網羅的に把握する。その分析から、地域に必要な資源と体制を明確にする。	・各都道府県に対する啓発資源についての調査（医療従事者、行政、市民団体、賛同企業など） ・啓発実態の調査	・移植学会臓器提供普及啓発委員会/島田委員長 ・JOT ・都道府県コーディネーター	調査	まとめ	必要体制の明確化 体制整備提案
				事例収集		蓄積・更新



2022年度事業

1. 移植啓発チームの体制整備
2. 啓発実態・資源調査

日本移植学会 臓器提供普及啓発委員会



委員長：島田 光生

副委員長：吉住 朋晴

担当幹事：福本 巧

委員：瓜生原 葉子、齋藤 裕、嶋村 剛
高槻 光寿、山永 成美

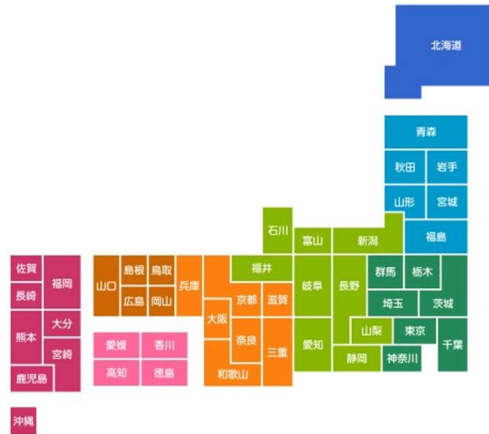
+

全国47都道府県の担当委員



一般社団法人 日本移植学会
The Japan Society for Transplantation

47都道府県に移植啓発世話人の設置



啓発に関する提案依頼、アンケート調査 etc.

新たな移植啓発チーム結成



47都道府県コーディネーター

都道府県コーディネーターを対象とした普及啓発会議 2022.06.22

2022年度事業

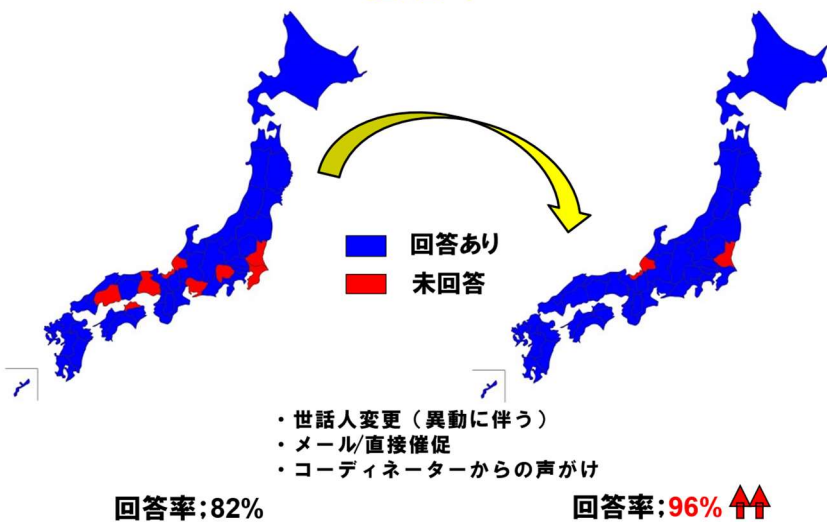
1. 移植啓発チームの体制整備

2. 啓発実態・資源調査

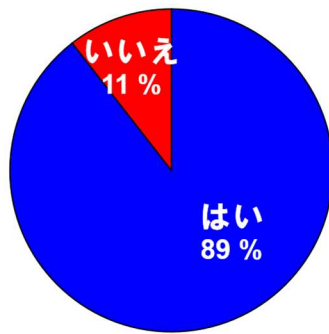
各都道府県へのアンケート調査 - 啓発世話人 -

1. 移植医療啓発のために何かアクションをおこなっていますか？*	2. 各都道府県独自のキャラクター/パンフレット作成をされていますか？*
<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
【1.で「はい」とお答えいただいた方へ】具体的な内容をご選択ください。（複数回答可）	【2.で「はい」とお答えいただいた方へ】具体的な内容をお書きください。
<input type="checkbox"/> 市民公開講座 <input type="checkbox"/> イベントでの講演 <input type="checkbox"/> プース出展 <input type="checkbox"/> その他: _____	回答を入力 _____
【1.で「はい」とお答えいただいた方へ】どれくらいの頻度で行われているかをご選択ください。	3. 啓発活動にどれくらいの費用（年単位）があれば、よいでしょうか？*
<input type="radio"/> 3年に1回程度 <input type="radio"/> 1年に1回程度 <input type="radio"/> 半年に1回程度 <input type="radio"/> それより短期間 <input type="radio"/> その他: _____	回答を入力 _____
	4. 各都道府県内の啓発活動のためには、どのような体制づくりが必要でしょうか？
	回答を入力 _____

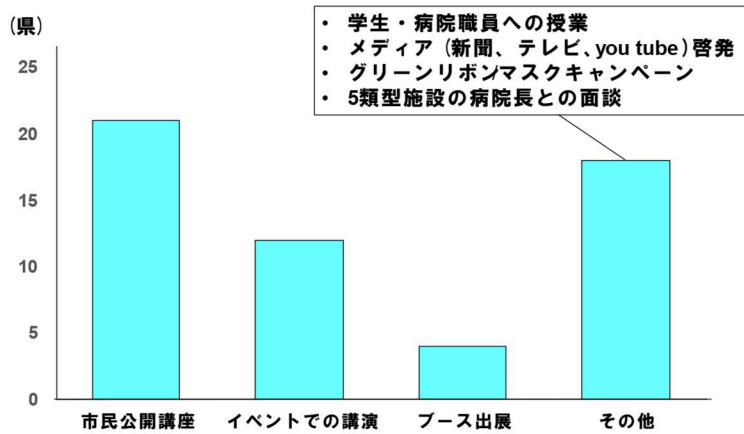
回答率



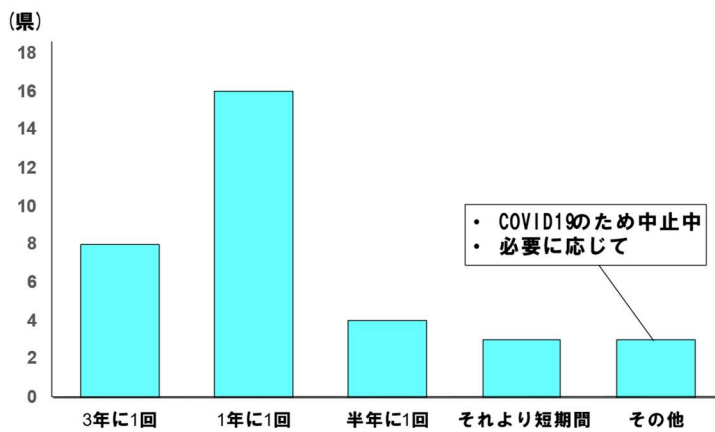
Q1. 移植啓発のために何かアクションをおこなっていますか？



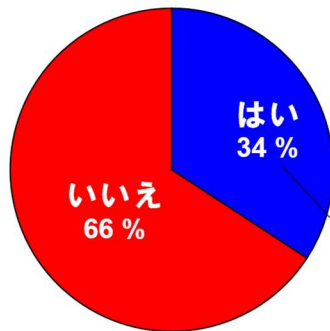
Q1. 具体的内容



Q1. 開催頻度



Q2. 都道府県独自のキャラクターパンフレット作成をされていますか



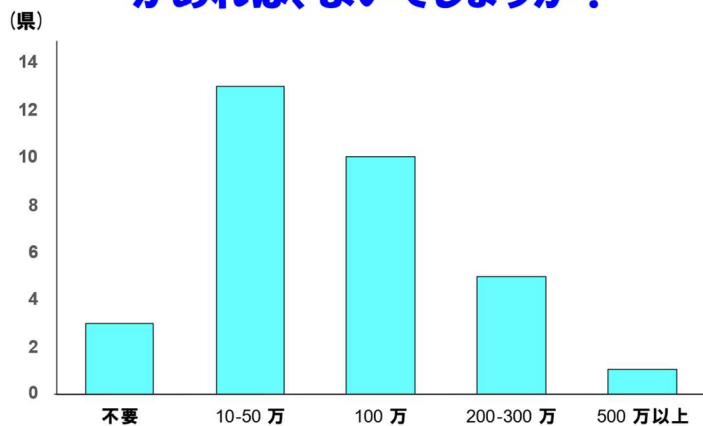
- ゆるキャラ(トクシ/くまモン/しんじょう君/わお)、阿波踊り、赤べこJ2マスコット



バッジ、意思表示カード、パンフレット

- 飛行機(離島便)のラッピング
- 運転免許証試験場での配布を念頭においたYouTubeでの説明動画に導くQRコード付きパンフレット

Q3. 啓発活動にどのくらいの費用(年単位)があれば、よいでしょうか?



Q4. 各都道府県内の啓発活動のためには、どのような体制づくりが必要でしょうか?

- 自治体・行政・教育委員会・マスコミ・医師会・患者会との連携
- 県コーディネーターと救急医、脳外科医、移植医の連携強化
- 人員増員のための予算

(県コーディネーターが人ではどうにもならないため、複数人必要)。

- 学校(中学高校)での臓器移植に関する授業が必要
- 移植実施施設が中心となって、啓発活動をリードするべき
- 全国的にある程度統一したイベント等が必要
- 若者が企画した啓発活動、県臓器バンクの活動強化、各地方における臓器移植連絡会議の開催
- 複数の移植施設を取り纏め、市民公開講座の企画、パンフレットの作成等について協力してもらえ窓口の明確化が必要。移植イメージタレントを契約し各地でのイベントの際に格安で出演を可能にする。

各都道府県へのアンケート調査

- 都道府県コーディネーター -

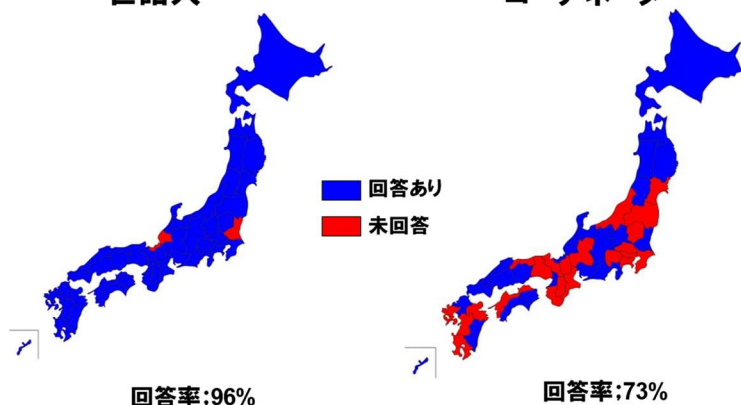
<p>1. 移種啓発のために何かアクションをおこなっていますか？</p> <p><input type="radio"/> はい</p> <p><input type="radio"/> いいえ</p>	<p>2. 各都道府県独自のキャラクター/パンフレット作成をされていますか</p> <p><input type="radio"/> はい</p> <p><input type="radio"/> いいえ</p>
<p>【1.で「はい」とお答えいただいた方へ】具体的な内容をご選択ください。（複数回答可）</p> <p><input type="checkbox"/> 市民公開講座</p> <p><input type="checkbox"/> イベントでの講演</p> <p><input type="checkbox"/> プース出張</p> <p><input type="checkbox"/> その他 _____</p>	<p>【2.で「はい」とお答えいただいた方へ】具体的な内容をお書き下さい。</p> <p>作成いただいた現物あるいはスキャンしたデータなどをぜひ移種学会事務局に送付ください。</p> <p>宛先： 一般社団法人 日本移種学会事務局 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13-4F 一般社団法人 学会交流センター内 E-Mail: shokug@ass-mail.jp</p> <p>回答を入力</p>
<p>【1.で「はい」とお答えいただいた方へ】どれくらいの頻度で行われているかをご選択ください。</p> <p><input type="radio"/> 3年に1回程度</p> <p><input type="radio"/> 1年に1回程度</p> <p><input type="radio"/> 半年に1回程度</p> <p><input type="radio"/> それより短期間</p> <p><input type="radio"/> その他 _____</p>	<p>【2.で「いいえ」とお答えいただいた方へ】具体的な理由をお書き下さい。</p> <p>回答を入力</p>
<p>3. 啓発活動にどのくらいの費用（年単位）があれば、よいでしょうか？</p> <p>回答を入力</p>	

アンケート回答調査

- 世話人・コーディネーター -

世話人

コーディネーター



Q4.各都道府県内の啓発活動のためには、どのような体制づくりが必要でしょうか？

- ・ 都道府県Coに丸投げしない
- ・ 都道府県Coに企画から開催まで頼らず、県も企画から参加するべき
- ・ 県主導で啓発活動に積極的に関わってほしい
- ・ 国から都道府県に働きかけをしてほしい
- ・ 行政、患者団体、マスコミの協力体制
- ・ マンパワー不足（都道府県コーディネーターの増員）、予算が少ない
- ・ 長年、変わらず慢性化している活動内容の見直しと時代に即した新たな活動を模索する体制の構築
- ・ 一般市民よりも、集中治療医や救急医、院内コーディネーターへの啓発が重要

2022年度事業

1. 移植啓発チームの体制整備

- ・ 啓発世話人(移植学会)+コーディネーター(JOT)設置
- ・ 調査に必要なメーリングリスト構築

2. 啓発実態・資源調査

- ・ 調査回答率の上昇には、ひと手間必要
- ・ 年に1回程度の啓発活動
- ・ 約10-50万の費用が必要
- ・ 行政、医師、コーディネーターの連携が非常に重要
- ・ コーディネーターの負担が大きい

2023年度事業

必要体制（行政、医師、コーディネーター）明確化

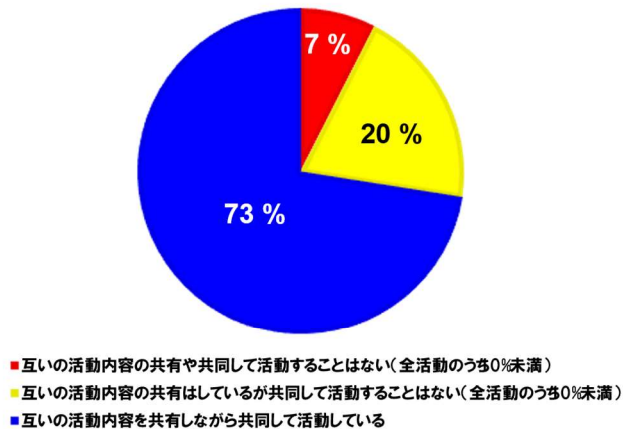
行政との連携についてのアンケート調査 - 啓発世話人 -

1. 都道府県 <input type="text"/>	5. 移植研修の普及啓発活動（主に都道府県長への意思表示促進）を行うにあたり、都道府県移植コーディネーターと自治体はどの程度連携をとっていますか？ <input type="checkbox"/>	6. 移植研修の普及啓発活動（主に都道府県長への意思表示促進）を行うにあたり、都道府県移植コーディネーターと自治体はどの程度連携をとっていますか？ <input type="checkbox"/>
回答を入力してください	<input checked="" type="radio"/> 互いの活動内容の共有や共同して活動することはない（全活動の55.10%未満） <input type="radio"/> 互いの活動内容の共有はしているが共同して活動することはない（全活動の5.10%未満） <input type="radio"/> 互いの活動内容を共有しながら共同して活動している	<input type="radio"/> 互いの活動内容の共有や共同して活動することはない（全活動の55.10%未満） <input type="radio"/> 互いの活動内容の共有はしているが共同して活動することはない（全活動の5.10%未満） <input checked="" type="radio"/> 互いの活動内容を共有しながら共同して活動している
2. お名前 <input type="text"/>	5. 移植研修の普及啓発活動（主に都道府県長への意思表示促進）を行うにあたり、都道府県移植コーディネーターと自治体はどの程度連携をとっていますか？ <input type="checkbox"/>	6. 移植研修の普及啓発活動（主に都道府県長への意思表示促進）を行うにあたり、都道府県移植コーディネーターと自治体はどの程度連携をとっていますか？ <input type="checkbox"/>
回答を入力してください	<input type="radio"/> 互いの活動内容の共有や共同して活動することはない（全活動の55.10%未満） <input checked="" type="radio"/> 互いの活動内容の共有はしているが共同して活動することはない（全活動の55.10%未満） <input type="radio"/> 互いの活動内容を共有しながら共同して活動している	連携を円滑にするために特約的又は重点的に実施している具体策があれば教えてください。（自由記載） 例）自治体、都道府県移植コーディネーターや関係機関等と定期的に会議を開催している 回答を入力してください
3. ご所属施設 <input type="text"/>	回答を入力してください	7. 自治体への要望（自由記載） <input type="text"/>
回答を入力してください	4. 自治体での移植研修対策担当 <input type="checkbox"/>	回答を入力してください
回答を入力してください	連携をとっていない、とりにくい要因について、該当する複数数に○を（複数回答可）、さらに、自治体への要望などありましたら自由に記載ください <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 自治体世話人の人員、業務環境、方針、意識等 <input type="checkbox"/> 都道府県移植コーディネーターの人員、業務環境等 <input type="checkbox"/> その他	

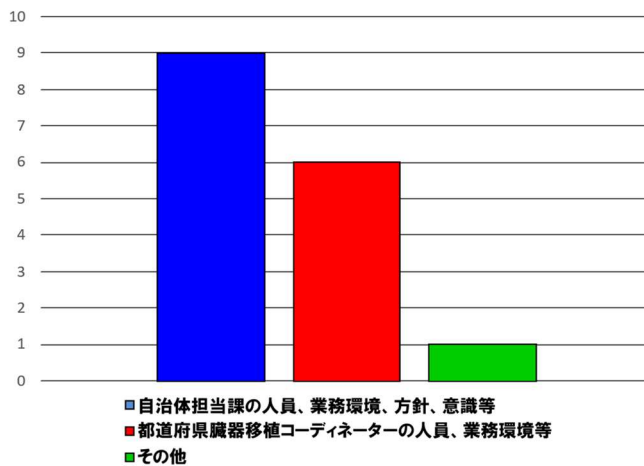
Q4.自治体での臓器移植対策担当課について



Q5. 臓器移植の普及啓発活動 (主に都道府県民への意思表示促進)を行うにあたり、 都道府県臓器移植コーディネーターと自治体は どの程度連携をとっていますか？



Q6. 連携をとっていない、とりにくい要因について。 さらに、自治体へのご要望などありましたら自由に記載ください



Q6.連携を円滑にするために特徴的又は重点的に実施している 具体策があれば教えてください。

- 臓器移植協議会を2-3回/年で開催、疾病対策課長も参加いただいている。臓器提供連携体制構築事業に参加するにあたり、疾病対策課から5類型病院に連携に参加を促す依頼文を作成いただいた。また、連携体制構築事業のミーティングにも参加いただいている。
- 行政(薬務衛生課)、県臓器移植コーディネーター、南部九州唯一の肝移植施設である熊本大学と県内唯一のactiveな腎移植施設である熊本赤十字病院の外科医およびレシピエントコーディネーターが随時連絡を取りつつ毎年の活動内容を協議し、市民(県民)公開講座やグリーンライトアッププロジェクトに取り組んでいる。
- 自治体、都道府県臓器移植コーディネーターや関係機関等で定期的に会議を開催している。
- 臓器移植推進財団(健康対策課)と県知事任命院内コーディネーター(県内病院計約100名)で年2回コーディネーター研修会を開催している。ポテンシャル症例発生時には臓器移植財団、院内コーディネーター協議会を通じて社会的医学的適応判断などを随時コンサルトできる体制を構築している。

Q7.自治体へのご要望

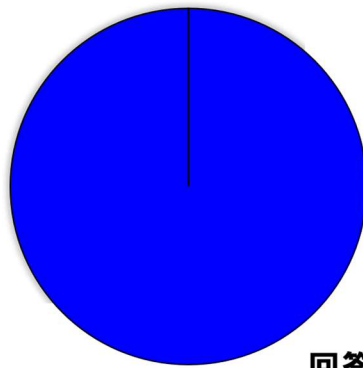
- コーディネーターの処遇改善
- 担当課から定期的に連絡が欲しい。
- 窓口を明確化し、連絡体制を整えてほしい
- 意見しても予算が無いから出来ないと却下されます。

行政との連携についてのアンケート調査

- コーディネーター -
(回答者数34人)

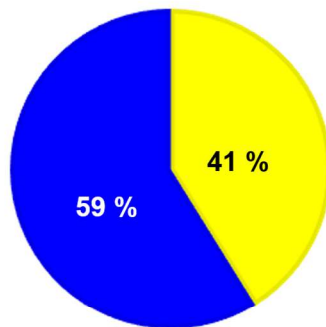
<p>1. 都道府県 <input type="text"/></p> <p>回答を入力してください</p>	<p>5. 臓器移植の普及啓発活動(主に都道府県民への意思表示促進)を行うにあたり、都道府県臓器移植コーディネーターと自治体はどの程度連携をとっていますか? <input type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="radio"/> 互いの活動内容の共有や共同して活動することはない(全活動の5%未満)</p> <p><input type="radio"/> 互いの活動内容の共有しているが共同して活動することはない(全活動の5%~10%未満)</p> <p><input type="radio"/> 互いの活動内容を共有しながら共同して活動している</p>	<p>5. 臓器移植の普及啓発活動(主に都道府県民への意思表示促進)を行うにあたり、都道府県臓器移植コーディネーターと自治体はどの程度連携をとっていますか? <input type="checkbox"/></p> <p><input type="radio"/> 互いの活動内容の共有や共同して活動することはない(全活動の5%未満)</p> <p><input type="radio"/> 互いの活動内容の共有しているが共同して活動することはない(全活動の5%~10%未満)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 互いの活動内容を共有しながら共同して活動している</p>
<p>2. お名前 <input type="text"/></p> <p>回答を入力してください</p>	<p>5. 臓器移植の普及啓発活動(主に都道府県民への意思表示促進)を行うにあたり、都道府県臓器移植コーディネーターと自治体はどの程度連携をとっていますか? <input type="checkbox"/></p> <p><input type="radio"/> 互いの活動内容の共有や共同して活動することはない(全活動の5%~10%未満)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 互いの活動内容を共有しているが共同して活動することはない(全活動の5%~10%未満)</p> <p><input type="radio"/> 互いの活動内容を共有しながら共同して活動している</p>	<p>6. 連携を円滑にするために特徴的又は重点的に実施している具体策があれば教えてください。(自由記述) <input type="checkbox"/></p> <p>例) 自治体、都道府県臓器移植コーディネーターや関係機関等で定期的に会議を開催している</p> <p>回答を入力してください</p>
<p>3. ご所属施設 <input type="text"/></p> <p>回答を入力してください</p>	<p>6. 連携をとっていない、と決める要因について、該当する選択肢に○を(複数回答可)、さらに、自治体への要望などお記入したる自由に記述ください <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 自治体担当課の人員、業務量、方針、業務等</p> <p><input type="checkbox"/> 都道府県臓器移植コーディネーターの人員、業務量等</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>7. 自治体へのご要望(自由記述) <input type="text"/></p> <p>回答を入力してください</p>
<p>4. 自治体での臓器移植対策担当課 <input type="text"/></p> <p>回答を入力してください</p>		

Q4.自治体での臓器移植対策担当課について



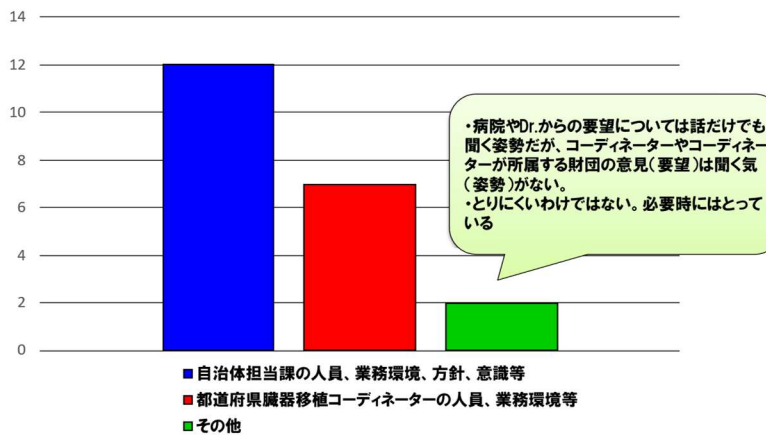
回答あり
100 %

Q5. 臓器移植の普及啓発活動 (主に都道府県民への意思表示促進)を行うにあたり、 都道府県臓器移植コーディネーターと自治体は どの程度連携をとっていますか？



- 互いの活動内容の共有はしているが共同して活動することはない(全活動のうち0%未満)
- 互いの活動内容を共有しながら共同して活動している

Q6. 連携をとっていない、とりにくい要因について。 さらに、自治体へのご要望などありましたら自由に記載ください



Q6.連携を円滑にするために特徴的又は重点的に実施している 具体策があれば教えて下さい。

- ・5類型施設、臓器搬送に係る関係団体、警察、行政(児相)が一同に介する会議を開催。
- ・所属施設と行政機関の距離が近いので、日常的に活動状況の報告や事業についての相談などを行っている。また、普及啓発に関しては、行政と一緒に取り組んでいることが多い。
- ・行政・ヘルス財団・都道府県Co.が参加し移植医療連絡会を2回/年開催している。また、行政担当課担当者同席のもと、臓器移植院内Co.連絡会を4回/年開催。GreenRibbonCampaignは、行政とヘルス財団が主催し、県Co.も一緒に運営に関わっている。
- ・定期的で開催している会議などはありません。適宜のやり取りをメールで行い、必要に応じて県庁へ伺っています

Q7.自治体へのご要望

- ・ 担当者は最低3年は移植医療に携わって欲しい(1年で担当者が変わることもある)
- ・ ライトアップやイベント等には共同で実施しているが、お互いに1名なので、あまり会うこともなくメールで連絡を取り合っているのが実情。互いに人員の強化が必要。
- ・ 現在当県では、臓器移植の普及啓発に関する取り組みは、移植医療推進財団と県コーディネーターが主になって行っており、県が積極的に関わってくれることはほとんどない

2023年度事業

必要体制（行政、医師、コーディネーター）明確化

- ・ 行政担当者と医師/コーディネーター間のやりとりが疎遠
- ・ 行政担当者が年単位で変更
- ・ 三位一体となって活動している都道府県は少ないが、存在する
- ・ 啓発モデル県を共有する必要あり



徳島県庁(医療政策課) 表敬訪問

2023年 9月



新任 新任

医療政策課 表敬訪問 2回目(1回目から半年)

徳島県知事・肝疾患





徳島県庁 グリーンライトアップ

グリーンライトアップ in Tokushima



徳島城公園



徳島大学病院

徳島県立中央病院

徳島市立高校

徳島県SNS

徳島県
10月16日 17:14

10月16日は臓器移植法が施行された「グリーンリボンデー」です。
県でもドナーの方への感謝に加え、移植を待つ人たち、移植医療を支える医療従事者等へのエールも込め万代庁舎をライトアップします。
日時：10月16日(月)～10月22日(日) 19:00～22:00... [さらに表示](#)



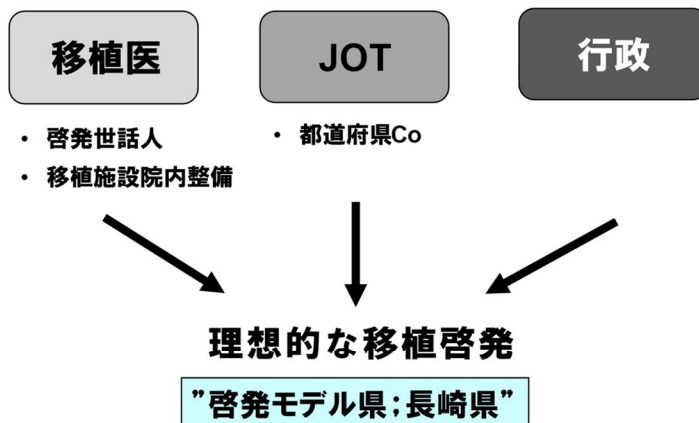

徳島県
10月20日 17:17

10月は「臓器移植普及推進月間」です。
臓器移植は広く社会の理解と支援があつて初めて成り立つ医療です。
臓器移植が正しい理解に基づき進むよう、徳島県運転免許センターで、(公財)とくしま移植医療推進財団、徳島県腎臓病協議会と協力し、臓器移植の啓発ブースを設置します。
すだちくんも参加！
日時：10月22日(日) 10:00～12:00
#臓器移植普及 #徳島県 #すだちくん





啓発体制整備



2024年度事業計画

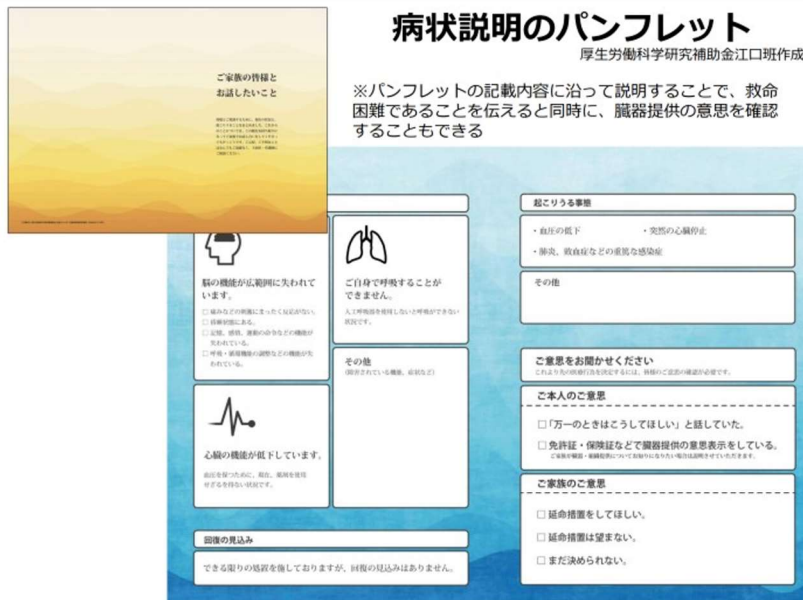
1. 啓発モデル都道府県の抽出
2. 組織構築のマイルストーン
3. Website 構築

啓発モデル都道府県



病状説明のパンフレット

厚生労働科学研究補助金江口班作成



パンフレット使用について

- これまで口頭により選択肢を提示していた医師は、パンフレットが作成されたからといって、その方法に変化はなかった
- しかし、口頭で選択肢を提示できる医師は限られていたため、選択肢を提示する医師は固定化していた傾向であった
- パンフレットの存在により、不慣れな医師や若手医師等も選択肢の提示や情報の提供を行える状況となり、選択肢提示を行う医師の裾根が広がった
- 医療機関の担当者がパンフレットを活用しやすい環境となるように、現場の意見を取り入れたポスター・チラシ・下敷き等を県として作成し、環境整備に努めた

- ✓ 選択肢提示の一助となるためのツールとして作成
- ✓ 患者家族・主治医等の状況にあわせて個々の判断で使用していただいている
- ✓ パンフレットを使用していただくためには、パンフレット使用に関する懸念事項を払拭する取り組みが重要

組織構築のマイルストーン - 各都道府県でのチーム作り -

1. 啓発チーム発足 2. 現状把握 3. 問題点の検討 4. 対策実行



- 行政担当者(交代時には連絡)
- 医師
- コーディネータ

- 財源
- 誰がどこで何をする



“都道府県主体”

Website構築

“科学的な啓発を掲載する website”



瓜生原先生ご提示

啓発SNS



具体的な啓発活動をタイムリーに情報共有・拡散